

東京都市圏交通計画協議会 市区町村セミナー

令和7年11月18日

協議会事務局からの報告①

- 東京都市圏交通計画協議会について
- 第6回東京都市圏物資流動調査
 - 調査概要について
 - 調査結果の中間報告等

東京都市圏交通計画協議会

<目的>

東京都市圏における総合的な**都市交通計画**の推進に資すること

<構成団体>

国土交通省関東地方整備局、茨城県、埼玉県、千葉県
東京都、神奈川県、横浜市、川崎市、千葉市、さいたま市
相模原市、（独）都市再生機構、東日本高速道路（株）
中日本高速道路（株）、首都高速道路（株）

都市計画運用指針 国土交通省 (抜粋)

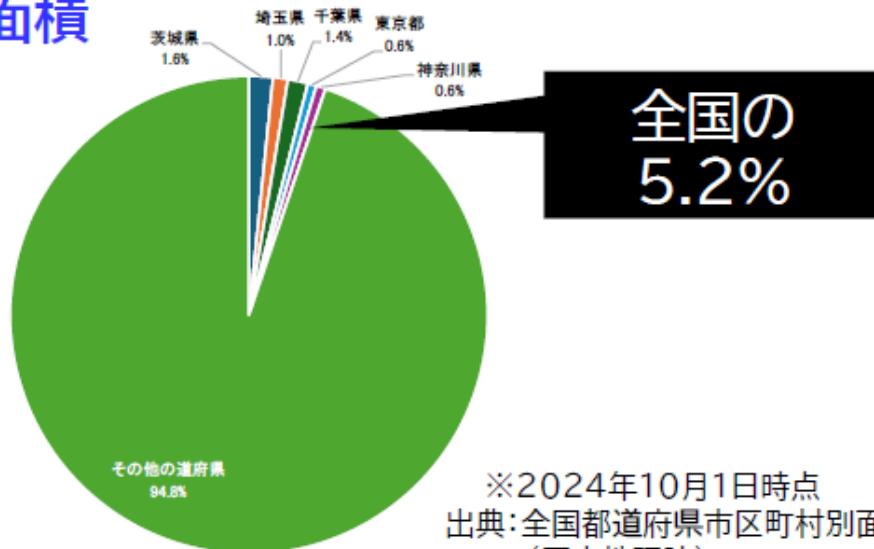
交通施設の都市計画に当たっては、おおむね20年後を目標とし、大都市、地方都市を問わず、**通勤通学等日常交通活動の広がりの観点から一体的な圏域を形成している都市圏を対象**に、交通実態の把握・分析、目指すべき都市構造や土地利用を踏まえた将来交通需要の予測を行ったうえで、都市の骨格を形成する交通施設等の必要性及び規模に関し総合的な検討を行うことが望ましい。

また、これまで最重要課題としていた渋滞緩和・解消の観点に加え、人々の活動機会へのアクセス、移動格差の解消、交通安全、カーボンニュートラルの実現、防災性の向上など、より幅広い都市の課題への対応の観点も含めて、**交通実態の把握、分析**を行うとともに、将来のありうる姿に関するシナリオ分析を、シミュレーション等を活用しながら実施し、**都市や交通の関わるビジョンや計画を作成**し、施設整備のような実現に長い期間を要するものだけでなく、短期間で実現できるものも含めて、**施策や各種の取組みを提案する総合的な検討**を行うことが望ましい（これらを総称して以下「**都市交通調査**」という。）。

東京都市圏

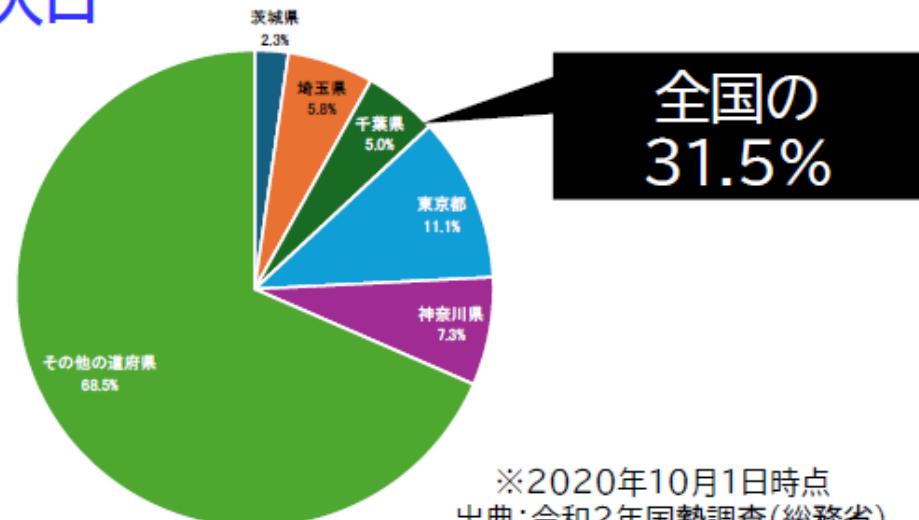
1都4県（東京都・茨城県・埼玉県・千葉県・神奈川県）

面積



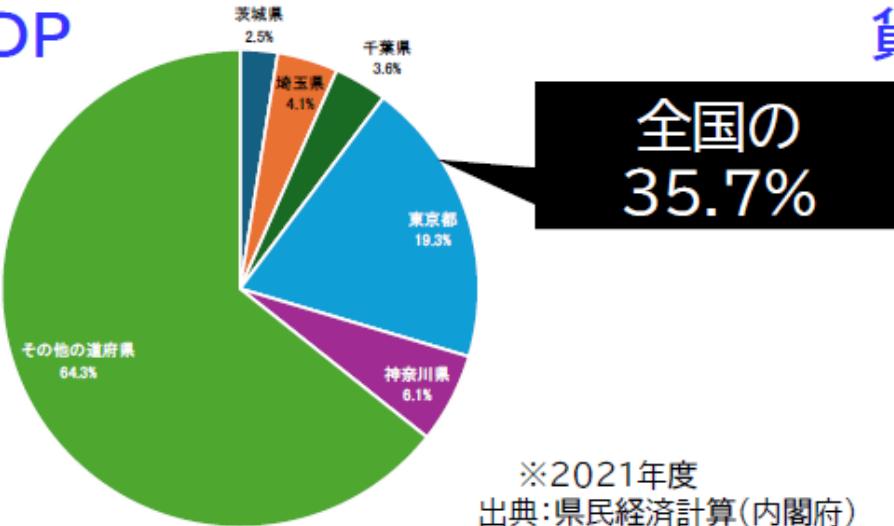
※2024年10月1日時点
出典:全国都道府県市区町村別面積調
(国土地理院)

人口



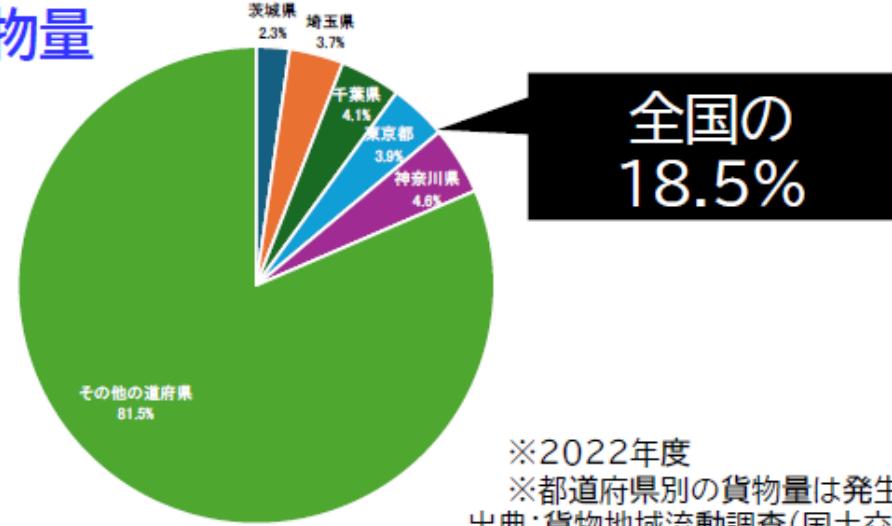
※2020年10月1日時点
出典:令和2年国勢調査(総務省)

GDP

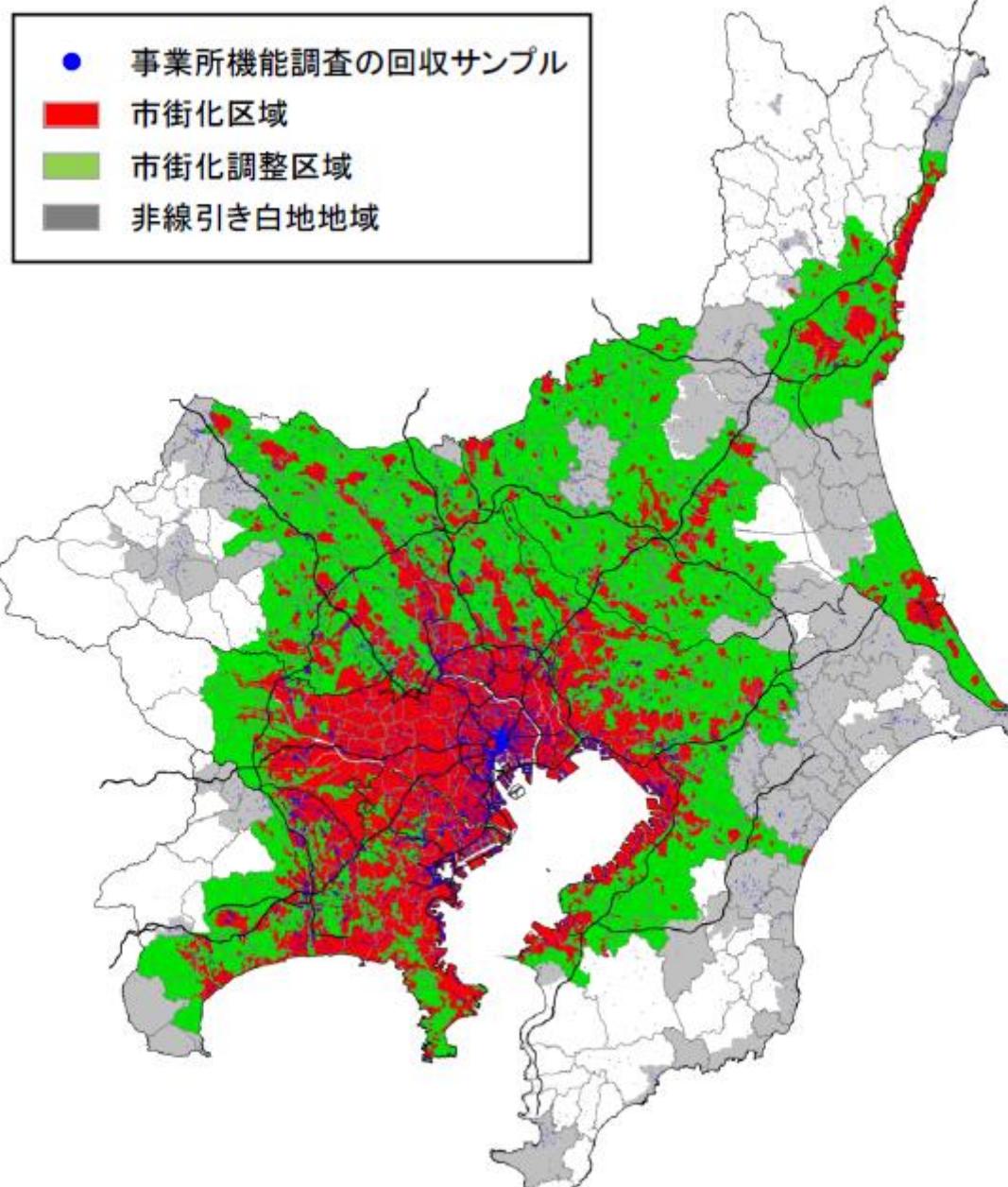


※2021年度
出典:県民経済計算(内閣府)

貨物量



※2022年度
※都道府県別の貨物量は発生量を集計
出典:貨物地域流動調査(国土交通省)



出典:第6回東京都市圏物資流動調査(事業所機能調査)、都市計画決定GISデータ

東京都市圏交通計画協議会

<目的>

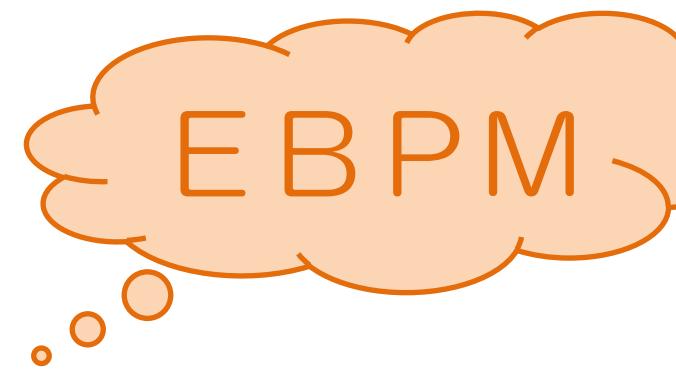
東京都市圏における総合的な都市交通計画の推進に資すること

<構成団体>

国土交通省関東地方整備局、茨城県、埼玉県、千葉県
東京都、神奈川県、横浜市、川崎市、千葉市、さいたま市
相模原市、（独）都市再生機構、東日本高速道路（株）
中日本高速道路（株）、首都高速道路（株）

<主な活動>

- 「パーソントリップ調査」・・・人の動き
- 「物資流動調査」・・・物の動き



内閣府におけるEBPMへの取組（抜粋）

EBPM（エビデンス・ベースト・ポリシー・メイキング。証拠に基づく政策立案）とは、政策の企画をその場限りのエピソードに頼るのではなく、政策目的を明確化したうえで合理的根拠（エビデンス）に基づくものとすることです。

政策効果の測定に重要な関連を持つ情報や統計等のデータを活用したEBPMの推進は、政策の有効性を高め、国民の行政への信頼確保に資するものです。内閣府では、EBPMを推進するべく、様々な取組を進めています。

→①：データを分析してわざることを踏まえ政策を立案

→②：担当者等の実感を踏まえた政策立案に際し、

国民（県民・市民）の理解や信頼を得る根拠

課題

- ・人口減少、高齢化
→ 労働力不足
- ・災害の激甚化・頻発化
- ・気候変動

変化

- ・産業構造の変化
- ・グローバル化
- ・ライフスタイルの変化
- ・技術革新の進展（DX）
- ・持続可能性、SDGs
- ・インクルーシブ、多様性

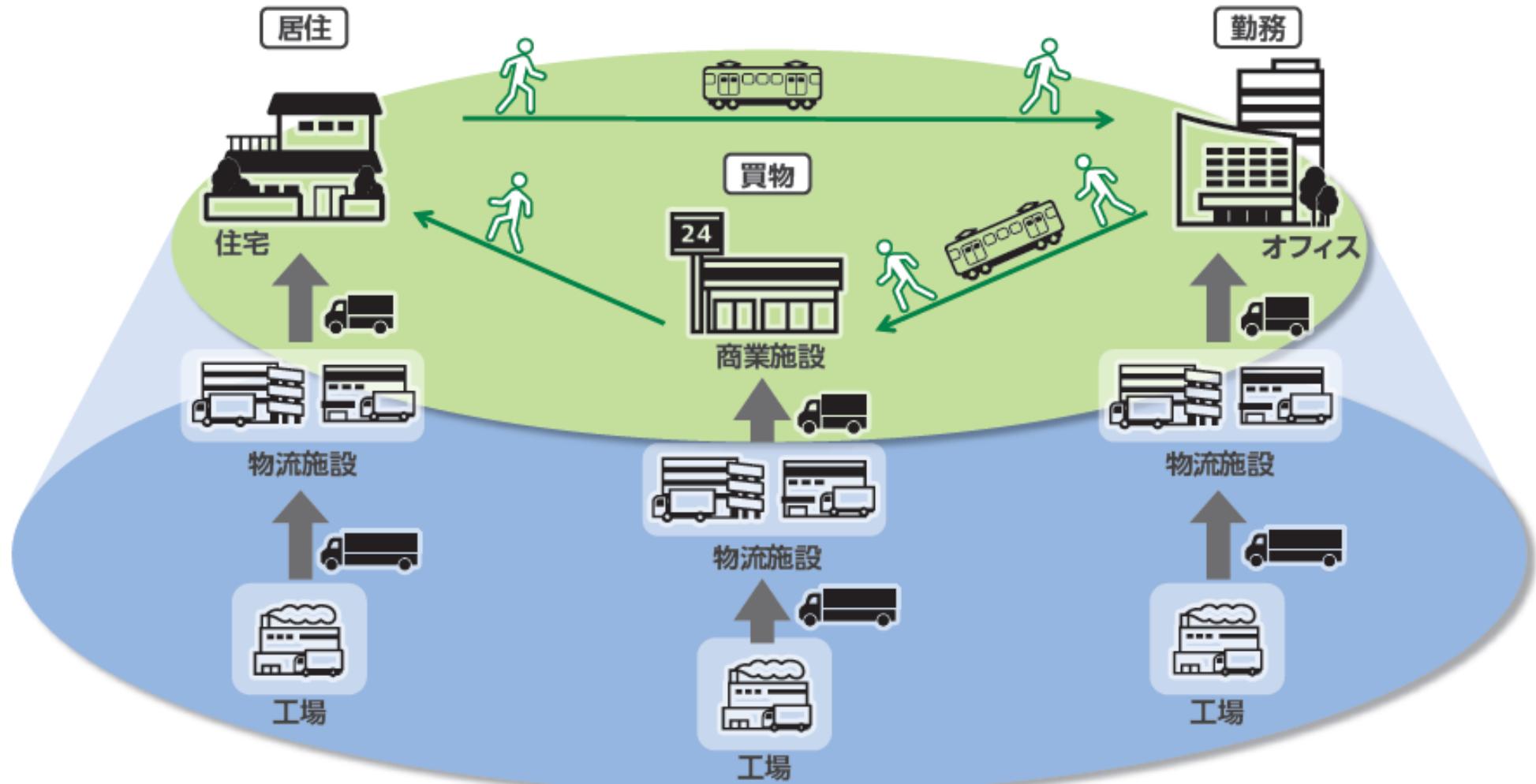


EBPM

まちづくり

ソフト対策・ハード対策

都市における人の動きと物流の関係のイメージ



第6回東京都市圏物資流動調査の概要

①事業所機能調査（本体調査）（令和5年度）

物流施設や工場といった「物流」に関係した事業所を対象として、施設の特徴、発生集中量、搬出先・搬入元などを調査

④地区物流調査（補完調査）（令和6年度）

特定の地区・施設を対象として、荷さばき駐車などの配送の実態等を調査

東京都市圏外

東京都市圏内

広域物流

地区物流



工場



物流施設



工場



物流施設



②企業アンケート調査（補完調査）（令和6年度）

「物流」に関係した企業の本社を対象として、今後の物流施設立地や、貨物の輸配送に関する意向などを調査

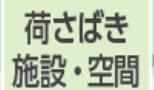
③個人のモノの受取調査（補完調査）（令和6年度）

個人を対象として、世帯の宅配の受取実態をインターネットアンケートで調査

中心市街地



商業施設



荷さばき施設・空間

住宅地



マンション 戸建て



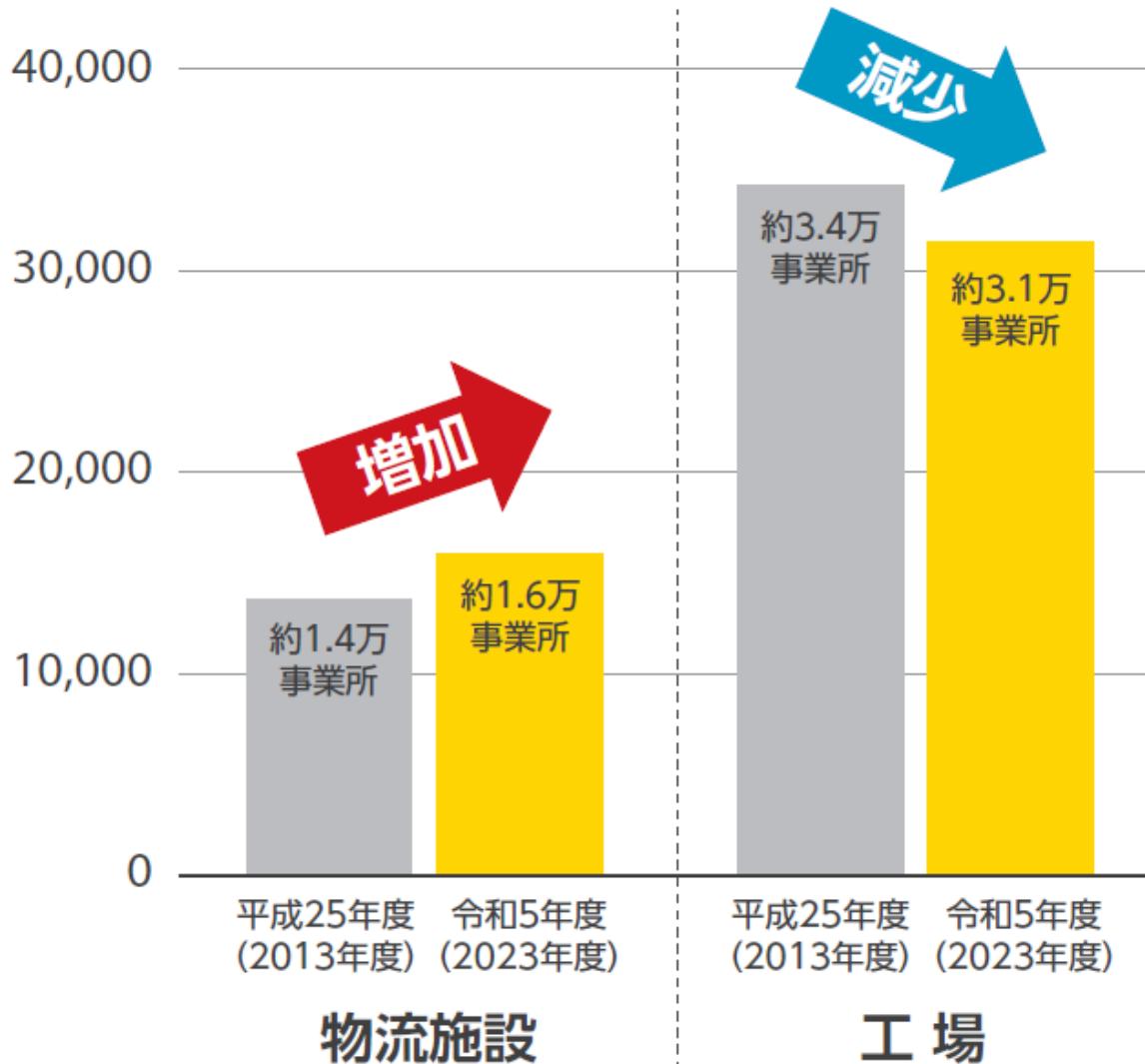
※物流施設：商品・製品等の集出荷、保管、積替、流通加工などを行う施設。たとえば、倉庫、集配センター、トラックターミナルなど

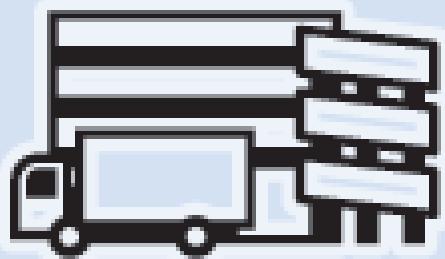
※工場：商品・製品等の製造、修理などを行う施設。たとえば、生産工場、修理工場、組立工場、加工工場、石油コンビナート、プラントなど

※荷さばき施設・空間：物資の最終的な届け先において、貨物車等が駐停車し、貨物や荷物の積み下ろしや仕分けなどを行うための施設・空間

東京都市圏の物流施設、工場の事業所数の変化

(単位:事業所)





物流施設

都市マスタープラン



工場

都市計画

産業誘致

立地適正化計画

人の動き・物の動き

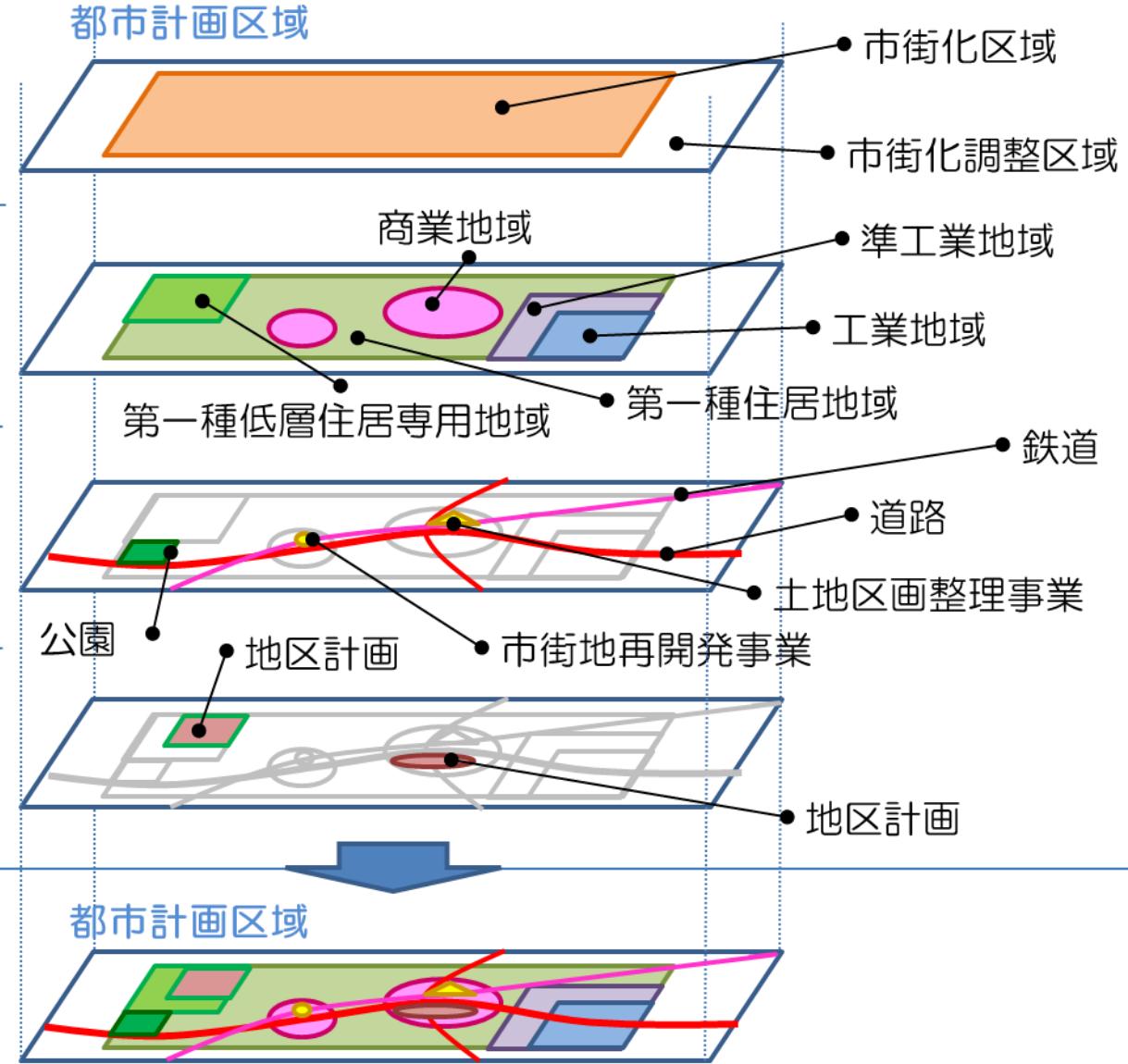
区域区分

地域地区
【例：用途地域】

都市施設
市街地開発事業

地区計画

都市全体の
計画の見取り図



MFLP・LOGIFRONT東京板橋

防災施設(避難・備蓄等)、公園

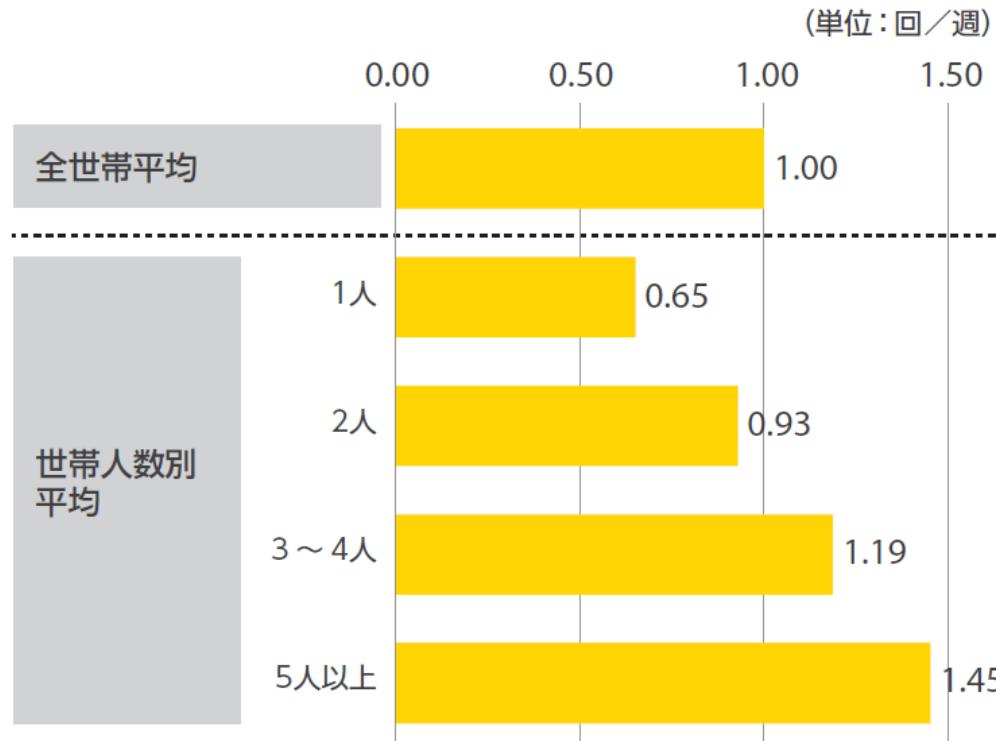
●地域に開放している緑道・公園等

地域住民等に施設内の緑道や公園などを開放している。物流施設のイメージアップにつなげている。

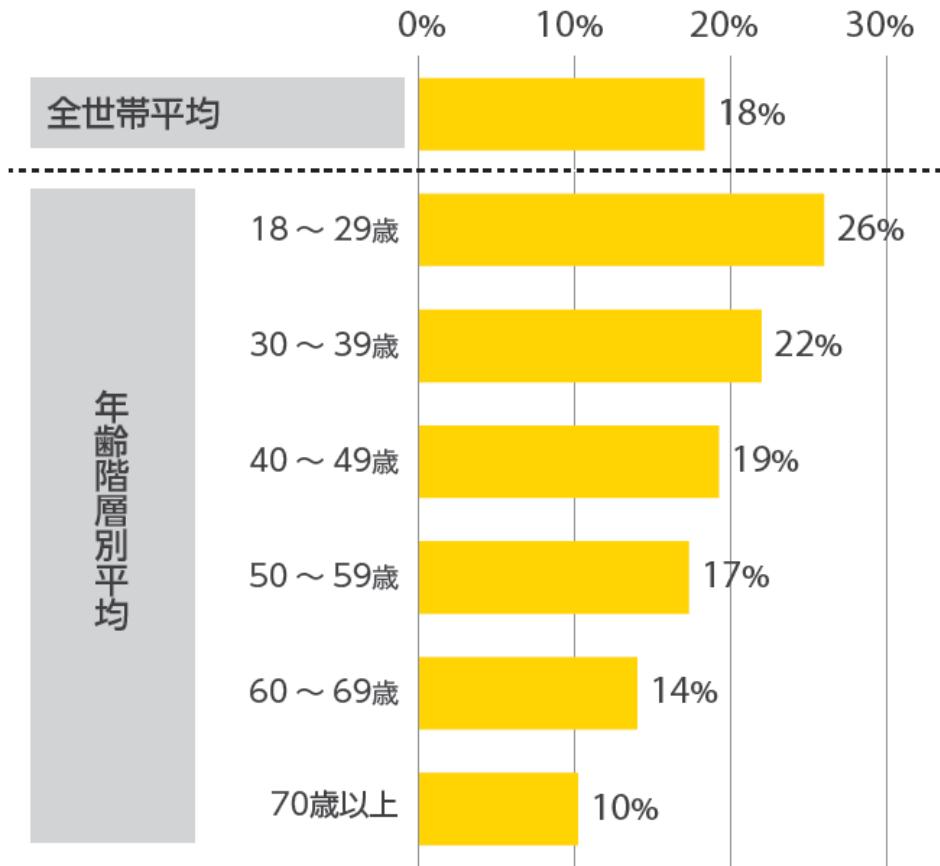


官民連携

世帯人数別の週平均の宅配受取頻度

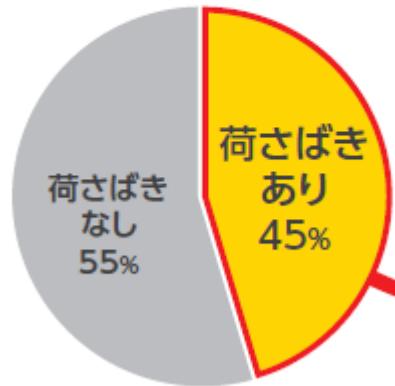


年齢階層別の再配達の発生割合

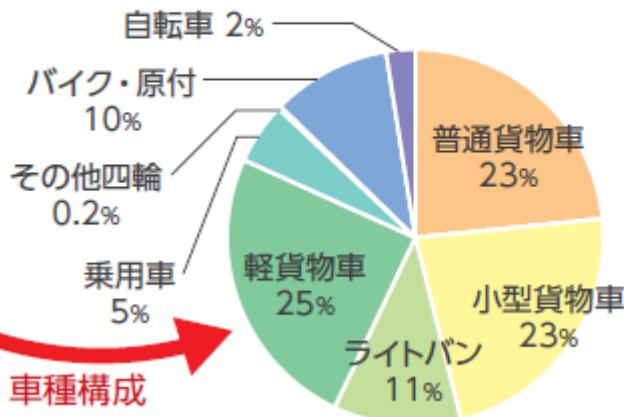


中心市街地の路上荷さばきの実態

路上駐車に占める荷さばきを行った車両数の割合



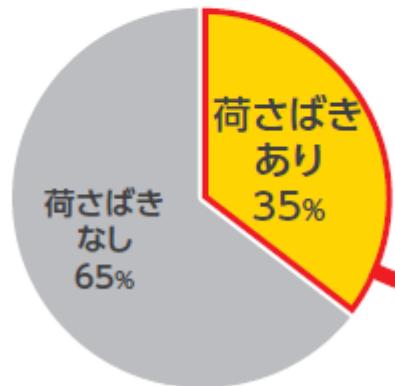
荷さばきを行う車両の車種構成



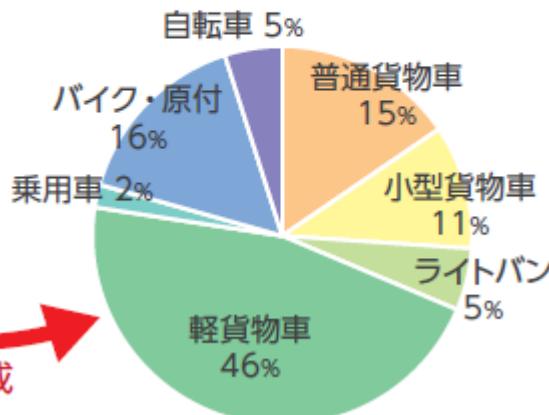
駐車場施策

中高層マンション周辺の路上荷さばきの実態

路上駐車に占める荷さばきを行った車両数の割合



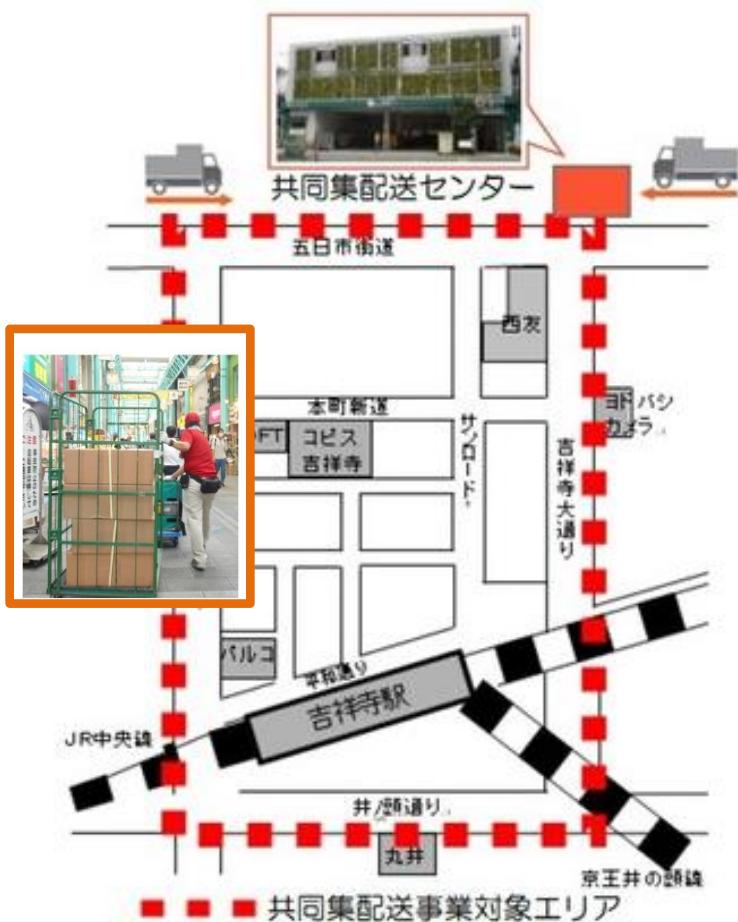
荷さばきを行う車両の車種構成



ウォーカブル

共同配送の取組み事例

吉祥寺
(中心市街地)



出典：武蔵野市公式ホームページ

藤沢SST
(住宅地)



出典：国土地理院（電子国土WEB）

大和ライフネクスト
(都内マンション)

自動配送ロボット、ドローン まちづくりは・・・



無人地帯
(立入管理措置(※)により
第三者上空飛行せず)

有人地帯
(立入管理措置なしで
第三者上空飛行)

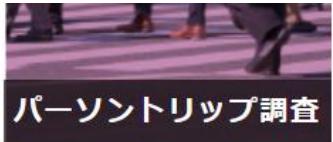


引き続き、データ整理や分析をすすめ
令和7年度内を目指し、
調査結果をとりまとめる予定です。

ホームページはこちらから
<https://www.tokyo-pt.jp/>



協議会



パーソントリップ調査



物資流動調査



記者発表資料



公表資料



データ提供

第6回東京都市圏物資流動調査 (令和5~6年度実施) 特設ページ



第6回東京都市圏物資流動調査 特設ページはこちら



第6回東京都市圏 PT 調査
(平成30年実施) 特設ページ

第6回(H30) 東京都市圏パーソントリップ調査 特設ページはこちら

東京PT パートントリップ調査
データ可視化ページ
インフォグラフ
~ひと目でわかる
あなたのまちの交通特性~

東京都市圏交通計画協議会
WEB研修会
~パーソントリップ調査
の分析手法~

パートントリップ調査データ
可視化ページはこちら

資料公開 & 動画配信ページはこちら

ご清聴ありがとうございました

このあと、事務局報告②・③、森本先生の特別講演、トークセッションと続きます

都市計画やまちづくりに携わる皆様にとって、

『物流』の視点からまちづくりを考えるきっかけとなり、

より安全・安心で快適な都市空間の提供につながれば幸いです